

製品名: UBA52 (9P19) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19508**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:200-1:1000
分子量	15kDa

抗原情報

遺伝子名	UBA52 60S ribosomal protein L40; CEP52; HUBCEP52; RPL40; UBA 52; Ubiquitin 52 amino acid
別名	fusion protein; Ubiquitin 60S ribosomal protein L40; Ubiquitin carboxyl extension protein 52; Ubiquitin CEP52;
遺伝子 ID	7311.0
SwissProt ID	P62987
免疫原	ヒト UBA52 の合成ペプチド

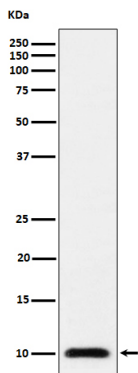
背景

UBA52 は、N 末端のユビキチンと C 末端のリソソームタンパク質 L40 (C 末端延長タンパク質 (CEP)) からなる融合タンパク質です。この遺伝子に由来する複数の処理された擬似遺伝子がゲノム内に存在します。[ユビキチン]: 別のタンパク質に共有結合して存在するか、自由 (アンカーされていない) 状態で存在します。共有結合している場合は、モノマー (モノユビキチン)、ユビキチンの異なる Lys 残基を介して結合したポリマー (ポリユビキチン鎖)、またはユビキチンの開始 Met を介して結合した線状ポリマー (線状ポリユビキチン鎖) として、イソペプチド結合を介して標的タンパク質に結合されます。標的タンパク質に結合されたポリユビキチン鎖は、結合しているユビキチンの Lys 残基に応じて異なる機能を持ちます。Lys-6 結合は DNA 修復に関与する可能性があります。Lys-11 結合型は ERAD (小胞体関連分解) および細胞周期制御に関与しています。Lys-29 結合型はリソソーム分解に関与しています。Lys-33 結合型はキナーゼ修飾に関与しています。Lys-48 結合型はプロテアソームによるタンパク質分解に関与しています。Lys-63 結合型はエンドサイトーシス、DNA 損傷応答、および転写因子 NF- κ B の活性化につながるシグナル伝達プロセスに関与しています。開始因子 Met による結合で形成された線状ポリマー鎖は、細胞シグナル伝達につながります。ユビキチンは通常、標的タンパク質の Lys 残基に結合していますが、まれに Cys または Ser 残基への結合が観察されています。ポリユビキチンが遊離している場合 (非アンカーポリユビキチン)、タンパク質キナーゼの活性化やシグナル伝達など、異なる役割も果たします。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



293T 細胞溶解物中の UBA52 発現のウエスタンブロット分析。